



2012年11月17日

会報

発行者 田村規千代
 編集者 更科 裕
 発行所 育英友の会
 〒162-8412
 東京都新宿区市谷本村町10-7
 日本学生支援機構政策企画部広報課内

留学生・奨学生地域交流集会を8か所で開催！

主として日本学生支援機構の奨学金を貸与されている日本人学生と日本で学ぶ外国人留学生との交流の機会としての「留学生・奨学生地域交流集会」を日本学生支援機構と共に開催で、今年は全国8箇所で開催しました。

北海道地区

日程：8/17（金）～8/19（日）
 会場：札幌市青少年山の家
 参加者：学生31名（留学生5+日本人学生26）スタッフ6名 計37名

出会い、触れあい

東北地区

日程：8/17（金）～8/19（日）
 会場：岩手県立県南青少年の家
 参加者：学生20名（留学生7+日本人学生13）スタッフ9名 計29名

デ
イ
ス
カ
ッ
シ
ヨ
ン

関東地区

日程：8/25（土）～8/27（月）
 会場：国立赤城青少年交流の家
 参加者：学生90名（留学生34+日本人学生56）スタッフ18名 計108名

東海地区

日程：9/15（土）～9/17（月）
 会場：国立乗鞍青少年交流の家
 参加者：学生38名（留学生18+日本人学生20）スタッフ11名 計49名

北信越地区

日程：9/15（土）～9/17（月）
 会場：長野県須坂青年の家
 参加者：学生19名（留学生10+日本人学生9）スタッフ10名 計29名

相互
理解

近畿地区

日程：8/24（金）～8/26（日）
 会場：国立淡路青少年交流の家
 参加者：学生64名（留学生24+日本人学生40）スタッフ15名 計79名

新た
な
絆

中国・四国地区

日程：9/7（金）～9/9（日）
 会場：国立江田島青少年交流の家
 参加者：学生42名（留学生23+日本人学生19）スタッフ12名 計54名

九州地区

日程：9/21（金）～9/23（日）
 会場：国立阿蘇青少年交流の家
 参加者：学生38名（留学生8+日本人学生38）スタッフ12名 計50名

このページと次のページでは、地域交流集会参加者の感想文とスナップ写真を一部ですがご紹介します。ただし紙面の都合上、一部編集（短縮）させていただいております。

一から頑張るためのエネルギー

Kさん（北海道地区参加。日本人学生）

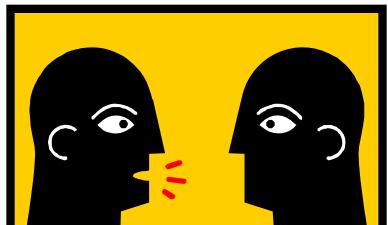
今回の交流集会は台湾へ交換留学中の今年、迷った挙句一時帰国した夏休みに「暇そうだから」という理由で大学の後輩に誘われたものでした。しかしながらこの3日間を通して出会った仲間たちと寝食を共にし、語らい、楽しい時間を一緒に過ごせたことは、その経験ができたことだけでも一時帰国をして良かった、と思えるのに十分な内容でした。

この交流集会の特色は2泊3日という時間、仲間と話し合いを繰り返すことでお互いのことをよく知り、また最終的にその仲間で何か1つのことを作り上げるということにあると思います。参加された学生の皆さん一人一人がそれぞれの経験から何かしらの挑戦を発表してくださいました。北海道外出身の方や文系理系の垣根を越えた方々が集まって意見交換をすることは非常に刺激的でしたし貴重なものでした。夏休み明けからの留学生活残り半分をどう過ごすか迷っていた私でしたが、また初心に返って一から頑張るためのエネルギーをここで頂きました。

東海地区交
流集会での
スナップ



←
中国四国地区にて



次のページでも若干紹
介しています。

とても濃い三日間

Mさん（九州地区参加。日本人学生）

たくさんの人とコミュニケーションがとれて、仲良くなれる人になりたくて、大学ではその助けになるであろうと、新たな言語の中国語を学び始めました。

だから国際交流が出来ることがとても楽しみでしたが、私は人見知りなので、楽しみ以上に、仲良くなれるか、交流会を楽しめるかどうかがとても不安でした。しかし、二泊三日を過ごして、そんな不安がウソだったみたいにこの交流集会が終わってしまうことを本当に寂しく思っています。

二泊三日はあつという間でしたが、とても濃い三日間でした。知り合ったばかりの人と、意見を言い合い、笑って悩んで、たった三日間寝食を共にしただけなのに、こんなに別れが寂しくなるなんて、三日前には考えもしませんでした。

異文化を知り、色々な意見を聞くことで、自己を知り、考え方方が広くなったように思います。人ととの間に絆が生まれるのに長い時間は必要ないし、国の違い、性別の違いも関係ないことを知りました。

この交流会に参加して、みんなと出逢えて本当に良かったです。スタッフの皆様、交流会で出逢った皆様、本当にありがとうございました。

出会い！！！

↓ 関東地区の交流集会にて



すてきな仲間たちに囲まれて

Sさん（東北地区参加。日本人学生）

毎日生活していると時間に追われて学校やバイトなどをただこなす状態になっていたので、この3日間美しい自然とすてきな仲間たちに囲まれて過ごし、ゆっくりと自分自身を見つめ直す良い機会になりました。

普段の大学生活で一緒にいる友達とは異なるタイプの人たちとふれあい、様々な意見を互いにぶつけ合うことが、とても新鮮で勉強になりました。

「歩み～それぞれのこれから～」というテーマのもと、普段の生活でまさかここまでじっくり自分について考えて話すということはなかつたので日ごろ考えない考えることができ、とても良かったと思います。

始めは同じ大学から参加する人がいらず、一人きりでの秋田からの参加だったので、不安でいっぱいでしたが、今回の東北地区留学生・奨学生地域交流集会で、スタッフの方々や施設の方々にサポートしてもらいながら、環境や考え方方が異なる人たちと仲良くなることができ嬉しかったです。

3日間と短い期間でしたが、私にとって忘れられない最高の3日間となりました。

交流集会に参加して思ったこと

Oさん（北信越地区参加。日本人学生）

私は、大学に入学してから特別にやりたい事をみつけられずにもがく中で、友人達は確実に夢の実現に向け前進し、私は焦っていました。そんな時に目にしたのがこの交流集会のポスターで、私は半ば逃げるような思いで参加しました。

様々な体験の中で特に印象深いのが、カレーライス作りです。同じ材料なのに、どの鍋のカレーも味が違うのです。とても驚きましたが、どのカレーも絶品でした。

十五日に皆に会って、沢山の経験をして、いろんなお話を聞いて、大切な思い出を作ることが出来ました。この交流集会を通して、多くのかけがえのない友達ができ、同時に私の中にあった国の違い、異文化を払拭できた気がします。

大 会 報 告

2012年5月19日（土）～20日（日）、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて2012年度大会が開催されました。

◎2011年度活動報告

1. 総務・事務局

- (1) 名誉会員・本部顧問・参与の推举
- (2) 大会・理事会の開催
- (3) 会員データベースの管理

2 事業関係

- (1) 留学生奨学生地域交流集会について
- (2) 日本学生支援機構との打ち合わせ

3 広報関係

- (1) 会報及び支部報の発行、送付
- (2) 特約宿泊施設との契約の更新



◎2012年度事業計画

1. 総務・事務局

- (1) 会員データ管理の適正化
- (2) 大会・理事会の開催
- (3) 規約・規程の見直し

2 事業関係

- (1) 平成24年度留学生奨学生地域交流集会
- (2) 突発的事態における対応基準

3 広報関係

- (1) 会報及び支部報の発行、送付
- (2) 発行経費基準の見直し



友の会あてメールへのお願い

育英友の会あてに、日本学生支援機構の奨学金についての相談、問い合わせのメールをいただくことがあります。

申し訳ございませんが育英友の会は、日本学生支援機構とは別の団体です。

奨学金に関する問い合わせは日本学生支援機構の奨学事業相談センター（0570-03-7240）へ直接お問い合わせください。

育英友の会からの回答は御容赦願います。

友の会への問い合わせ

育英友の会事務局には、常駐する関係者がおりません。申し訳ございませんが、お問い合わせなどは、下記あて先までメールでお願いします。

refer-itomo@ikueitononokai.jp
住所が変わられた方も、メールでお知らせください。

育英友の会ホームページアドレス

育英友の会ホームページ <http://www.ikueitononokai.jp>

北海道支部	http://www.ikueitononokai.jp/hokkaido/
東北支部	http://www.ikueitononokai.jp/tohoku/
関東支部	http://www.ikueitononokai.jp/kanto/
北信越支部	http://www.ikueitononokai.jp/hokushinetsu/
東海支部	http://www.ikueitononokai.jp/tokai/
近畿支部	http://www.ikueitononokai.jp/kinki/
中国四国支部	http://www.ikueitononokai.jp/chushikoku/
九州支部	http://www.ikueitononokai.jp/kyushu/

